

ラクして何かを手に入れようと思うと、ロクな事は無い。

分かってはいるけれども、やっぱりラクしたいと思う。

何とかなるだろうと楽観視するときも大切だけど、

何とかするのだという気構えは、心うちから消さないでいたい。

以前、指導していた部活動で「どうやったら早く技術的に上手になれるか」と生徒に問われた時、「そのコンビニで売ってるサプリメント飲んだら上手くなるで、ってなことは絶対無いなあ」と応えたことが、二度三度とあった。手っ取り早く勝つ術は身につけられないと伝えたくて、冗談を交えて生徒を諭したものだ。

何かを手に入れるためには、お金を払って購入するのが一番イメージしやすいが、そもそも部活動で上手になるのにこれは無理。サプリメントを探し求めても、怪しげなものしか見つからないのは言うまでもない。

当然、勉強（学び）も同じ。何とかラクしてテストで良い点数を取りたくても、時間と労力と集中力がなければ願いは叶わない。欲しいものを購入するという行為は、学びの世界では通用しないからだ。だからこそ、謙虚に地道に重ねる努力の積み重ねが、とても大切になる。至極当たり前のことなのに、その当たり前のことを改めて気付かせることが、以前と比べて増したように感じるのは私だけだろうか。

もう一つ。苦勞して身につけた（手に入れた）ものは、例え周囲からは無価値に思われるものでも、自分にとっては唯一無二の宝物になると思う。逆に、いかに高価なものでも容易に手に入ったものは、気付けばどこかへ消えていることが多い。

宝物を増やしたいから、ラクしたい気持ちを上手くやりくりして時を重ねたい。